

令和元年度 事業別概要

1	項目名	因幡霊場 大規模改修
---	-----	------------

年 度	令和元年度	担当課	福祉環境課
-----	-------	-----	-------

一般会計	
款	衛生費
項	火葬場費
目	因幡霊場管理費

(単位：千円)

当初予算額	32,622
補正予算額	△24,322
最終予算額	8,300

本年度決算額	6,815
--------	-------

区 分		金 額
財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	市町負担金	6,815
計		6,815

(参考)

前年度決算額	19,548
--------	--------

事業の概要
<p>【事業概要】 本施設は、指定管理者により管理運営を行っているが、施設の根幹に関わる大規模な修繕は、修繕計画に基づき本組合が行うこととしている。 本施設は、供用（平成10年4月）より21年が経過し、屋根の経年劣化による老朽化が進んでいることから、施設の適切な維持管理を図るため、屋根の塗装改修を行う。</p> <p>【事業の成果】 ・ 因幡霊場屋上防水修繕費 6,815千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 計画的な大規模改修等により、今後も人生終焉の場にふさわしい施設として利用いただけるよう、適切に維持管理を行う。</p>

評価結果	施設の長寿命化の点からも、効果的な改修整備が図れた。
------	----------------------------

2	項目名	最終処分場あり方検討業務
---	-----	--------------

年度	令和元年度
----	-------

担当課	福祉環境課
-----	-------

一般会計	
款	衛生費
項	不燃物処理費
目	環境クリーンセンター管理費

(単位：千円)

当初予算額	7,251
補正予算額	
最終予算額	7,251

本年度決算額	6,030
--------	-------

区分		金額
財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	市町負担金	6,030
計		6,030

(参考)

前年度決算額	
--------	--

事業の概要

【事業概要】

環境クリーンセンター最終処分場第1工区（平成9年度埋立開始）は、当初計画では平成23年度末までを埋め立て期間としていたが、排出ごみ量の減少やプラスチックごみのリサイクル化等に伴い、埋め立てごみ量が大きく減ったことから、令和12年度末まで埋め立てを延長しているところである。第2工区については、第1工区満了後の埋め立て地として、令和28年度末までを受け入れ予定としているところである。

また、隣接の旧未恒不燃物処分場（現白兎グラウンドゴルフ場）についても、浸出水処理施設の更新等の課題もあり、今後のあり方を検討する必要が生じている。

これらの状況を踏まえ、当初計画段階と状況が大きく変わってきていることから、改めて、長期的視点に立って現況調査を行うとともに、適切な維持管理方法等について検討を行う。

【事業の成果】

- ・最終処分場あり方検討業務費 6,030千円

【今後の課題・方向性】

住民生活に必要な不可欠な施設であり、今後も適切な維持管理を行うとともに、旧最終処分場に関しては、引き続き今後の維持管理の方策等について調査・検討を行う。

評価結果	長期に亘り適切な維持管理が必要となる最終処分場の維持管理の方法等について、有益な調査・検討が図れた。
------	--

3	項目名	環境クリーンセンター 建屋改修
---	-----	-----------------

年度	令和元年度
----	-------

担当課	福祉環境課
-----	-------

一般会計	
款	衛生費
項	不燃物処理費
目	環境クリーンセンター管理費

(単位：千円)

当初予算額	203,998
補正予算額	△9,044
最終予算額	194,954

本年度決算額	194,954
--------	---------

区分		金額
財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	146,200
	その他	
	市町負担金	48,754
計		194,954

(参考)

前年度決算額	17,213
--------	--------

事業の概要

【事業概要】

平成9年に施設を供用開始してから22年が経過する環境クリーンセンターは、塩害及び老朽化等により建物本体の損傷が著しく、施設を適切に維持するため、屋根・外壁等の改修工事（平成30年度から令和元年度までの2か年事業）を行う。

【事業の成果】

(単位:千円)

項目	平成30年度	令和元年度	計
屋根・外壁改修経費	5,202	194,954	200,156
屋上防水改修経費	12,011	0	12,011
計	17,213	194,954	212,167

【今後の課題・方向性】

住民生活に必要不可欠な施設であり、今後も長期に亘り利用する必要があることから、引き続き適切に維持管理を行う。

評価結果	施設内への漏水や漏電等への影響が解消されるなど、施設の適切な運転管理はもとより、長寿命化の点からも、効果的な改修整備が図れた。
------	---

4	項目名	因幡浄苑 凝集膜装置修繕
---	-----	--------------

年度	令和元年度
----	-------

担当課	福祉環境課
-----	-------

一般会計	
款	衛生費
項	し尿処理費
目	施設管理費

(単位：千円)

当初予算額	86,526
補正予算額	△6,226
最終予算額	80,300

本年度決算額	80,300
--------	--------

区分		金額
財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	60,200
	その他	
	市町負担金	20,100
計		80,300

(参考)

前年度決算額	
--------	--

事業の概要

【事業概要】

因幡浄苑では、し尿・浄化槽汚泥及び集落排水汚泥を受入れ、処理過程で生じた脱水汚泥は民間委託により再資源化を図るとともに、適正処理された処理水は河川放流を行っている。

これらの処理工程において基幹設備である凝集膜装置は、経年劣化等に伴い、集水軸及び膜の損傷が著しいことから、処理水に影響が生じないようこれらの取替修繕を行う。

【事業の成果】

- ・ 因幡浄苑凝集膜装置修繕費（全3台のうち2台） 80,300千円

【今後の課題・方向性】

令和2年度は令和元年度に引き続き、凝集膜装置（1台）の修繕を行う。

評価結果

し尿等を適正処理するために必要な性能の確保が図れた。

5	項目名	可燃物処理施設建設事業
---	-----	-------------

年度	令和元年度	担当課	施設建設課
----	-------	-----	-------

一般会計	
款	衛生費
項	可燃物処理費
目	ごみ処理施設建設費

(単位：千円)

当初予算額	1,360,676
補正予算額	△ 18,602
最終予算額	1,342,074

本年度決算額	1,341,084
--------	-----------

区分		金額
財源内訳	国庫支出金	462,537
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	市町負担金	878,547
計		1,341,084

(参考)

前年度決算額	463,451
--------	---------

事業の概要
<p>【事業概要】</p> <p>①工事関連経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (債) プラント建設に係る設計・施工監理委託業務 (平成30～令和4年度) ・ (債) 敷地造成工事 (平成29～令和元年度) ・ (債) 可燃物処理施設建設工事 (平成30～令和4年度) ・ 災害廃棄物仮置場整備工事 等 <p>②その他経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境影響評価事後調査業務 ・ 上水道口径別納付金 ・ 循環型社会形成推進地域計画策定業務 等 <p>【事業の成果】</p> <p>①工事関連経費 < 1,322,624千円 ></p> <p>②その他経費 < 18,460千円 ></p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>令和元年8月から可燃物処理施設建設工事の現地工事に着手しており、令和4年8月の本稼働を目指し工事を進めているところである。</p>

評価結果	喫緊の課題である可燃物処理施設建設事業については、現在順調に工事が進んでいる。今後も令和4年8月の本稼働に向け、着実に事業を推進する必要がある。
------	--

6	項目名	消防庁舎 新築事業
---	-----	-----------

年度	令和元年度
----	-------

担当課	消防総務課
-----	-------

一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

当初予算額	389,227
補正予算額	△ 43,546
最終予算額	345,681

本年度決算額	304,985
--------	---------

区分		金額
財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	231,000
	その他	
	市町負担金	73,985
計		304,985

(参考)

前年度決算額	427,710
--------	---------

事業の概要	
【事業概要】 消防庁舎の老朽化及び耐震不足を解消するため、本組合消防庁舎整備基本方針に基づき、年次的に消防庁舎の新築整備を行う。	
岩美消防署	構造：RC造2階建
①委託業務費	2,431千円 地盤変動影響調査（事後調査）
②工事費	57,778千円 外構工事、旧庁舎解体工事
八頭消防署	構造：RC造2階建
①委託業務費	13,147千円 (債)工事監理業務（平成30～令和元年度）
②工事費	266,256千円 (債)新築工事（平成30～令和元年度） ※令和元年度は全体工事費の約6割
智頭出張所	
①委託業務費	49,615千円 基本、実施、解体設計業務 アスベスト調査業務、地質調査業務、地盤変動影響調査業務
【事業の成果】	
<ul style="list-style-type: none"> ・岩美消防署整備事業費 40,036千円 ・八頭消防署整備事業費 252,935千円 ・智頭出張所整備事業費 12,014千円（基本、実施、解体設計業務はR2年度へ繰越） 	
【今後の課題・方向性】	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、消防庁舎整備基本方針に基づき、適正に新築整備を行う。 	

評価結果	地域の防災拠点としての役割を十分に果たすよう最新機能を備えた整備が図れた。
------	---------------------------------------

7	項目名	化学消防ポンプ自動車・高規格救急自動車 更新整備
---	-----	--------------------------

年度	令和元年度	担当課	消防総務課
----	-------	-----	-------

一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

当初予算額	102,693
補正予算額	0
最終予算額	102,693

本年度決算額	101,354
--------	---------

区分		金額
財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	93,800
	その他	
	市町負担金	7,554
計		101,354

(参考)

前年度決算額	69,638
--------	--------

事業の概要
<p>【事業概要】 長期間使用により老朽化した車両を年次計画に基づき更新する。</p> <p>○災害対応特殊化学消防ポンプ自動車〔湖山消防署〕平成11年車の更新〈69,133千円〉 ○災害対応特殊高規格救急自動車〔智頭出張所〕平成21年車の更新〈33,560千円〉 (高度救命処置用資器材含む)</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応特殊化学消防ポンプ自動車〔湖山消防署〕更新整備 68,640千円 ・災害対応特殊高規格救急自動車〔智頭出張所〕更新整備 32,714千円 <p>【今後の課題・方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、消防車両等更新計画に基づき、適正に更新整備を図る。

評価結果	各種災害に適切に対処するため、最新機能を有した資器材等搭載するなど、効果的な更新整備が図れた。
------	---

8	項目名	消防緊急通信指令システム機器適正化（セキュリティ対策）事業
---	-----	-------------------------------

年度	令和元年度	担当課	情報指令課
----	-------	-----	-------

一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

当初予算額	59,832
補正予算額	△ 1,512
最終予算額	58,320

本年度決算額	58,320
--------	--------

区分		金額
財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	市町負担金	58,320
計		58,320

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

事業の概要

【事業概要】
 運用開始して5年が経過した消防緊急通信指令システムは、システムの基本OSであるWindows7及びWindowsServer2008のサポートが令和2年1月で終了となるため、セキュリティ対策の観点から必要な機器を更新するもの。

○機器適正化（セキュリティ対策）事業費 〈 59,832千円 〉
 ・ セキュリティ対策の観点から最低限の機器更新（令和元年度）

※また、本システム機器のうち、耐用年数（5年）の経過により、重大な故障の危険性が高まる機器及び保守部品の確保が困難になる機器についても、令和2年度から令和3年度（2カ年）で更新する予定である。

○機器適正化(機器更新)事業費 〈 概算 約138,000千円 〉

【事業の成果】
 ・ 機器適正化（セキュリティ対策）事業費 58,320千円

【今後の課題・方向性】
 ・ 令和2年度から令和3年度（2カ年）で機器の更新を図る。

評価結果	サポートの終了に備えて、適切に更新整備が図れた。
------	--------------------------